

令和4年度 行政管理栄養士政策能力向上シンポジウム 開催要領

| | |
|-------|---|
| 目 的 | <p>これまでの健康・栄養政策においては、「健康日本21」や食育の推進等の全てのライフコースを対象とした対策と並行して、傷病者や被災者等を対象とした対策を通じ、「誰一人取り残さない」栄養政策を推進してきた。栄養改善の取組は、持続可能な開発目標（SDGs）の全ての目標達成に寄与するものであるとともに、近年では、健康面に加え環境面にも配慮した持続可能な食環境づくりや経済格差に伴う栄養格差の縮小等の新たな取組の必要性も生じており、その対応には、横断的な体制が求められている。</p> <p>行政栄養士は、こうした新たな課題に対応するために、今後を見据えた課題の総合的な分析・抽出、PDCAに基づく施策の着実な遂行、成果を得るためのマネジメントなど、様々なスキルが必要である。</p> <p>今回のシンポジウムでは、地域保健総合推進事業研究班の集大成として作成する「将来を見据えた、地域における栄養政策の実践ガイド（仮）」の概要案を報告する。この概要案を踏まえ、新たな課題に対応した栄養政策の実現に向けて、これからの行政栄養士の役割を行政栄養士が皆で考えることにより、行政栄養士一人ひとりの能力向上に資することを目的とする。</p> |
| 主 催 | 日本公衆衛生協会 |
| 開催日時 | 令和5年1月27日（金）午前10時30分から午後4時まで |
| 会 場 | AP 東京八重洲 FG ルーム 先着 80 名（先着 200 回線までオンライン（Zoom）による参加も可能） |
| 対 象 者 | 都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区が設置する保健所及び本庁、市町村に勤務する管理栄養士、栄養士等の関係職員 |
| 参 加 費 | 無 料 |
| 参加申込 | <p>日本公衆衛生協会ホームページ（http://www.jpha.or.jp/）にアクセスの上、参加申込フォームよりお申し込みください。</p> <p>【申込締切】令和4年12月26日（月）先着順</p> <p>※定員になり次第、締め切らせていただきますので予めご了承ください。</p> |
| 内 容 | <p>1 10:30 開 会 主催者挨拶：日本公衆衛生協会 理事長 松谷 有希雄 氏 来賓挨拶：厚生労働省 健康局長 佐原 康之 氏</p> <p>2 10:40～11:30 講 演 「これからの栄養政策と行政栄養士の役割」 講 師：厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 齋藤 陽子 氏</p> <p>3 11:30～12:00 報 告 「将来を見据えた、地域における栄養政策の実践ガイド（仮）について」 報告者：福井県福井健康福祉センター 新田 和美</p> <p>(休憩 60 分)</p> <p>4 13:00～15:50 シンポジウム 「これからの新たな課題に対応した栄養政策の実現に向けて ～地域における栄養政策の実践ガイド（仮）について考える～」 座 長：愛知県瀬戸保健所 所長 澁谷 いづみ 先生 助言者：厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 齋藤 陽子 氏 シンポジスト： ①研究報告1：栄養政策の企画・立案手法の実際～事例ヒヤリングから見てきたこと～ ②研究報告2：行政栄養士に求められるスキルの考え方～事例より質的内容を見る～ ③研究報告3：PDCAに基づく着実な栄養施策の実施 ④研究報告4：行政栄養士による栄養政策の実現～研究機関の立場から～</p> <p>グループワーク「これからの新たな課題に対応できる栄養政策の実現に向けて ～これからの行政栄養士の役割について考える～」</p> <p>5 15:50 事務連絡 6 16:00 閉 会</p> |